

発 行  
福井県大野市天神町1番1号  
大 野 市 役 所  
電 話 (代) 6-1111  
郵 便 番 号 912  
印 刷 松 浦 印 刷 所



8月の人口の動き

出生	男 30	女 29	計 59
死亡	11	16	27
転入	32	28	60
転出	42	27	69
世帯数	10,205 (前月-12)		
人 口	42,597 (前月+23)		
男	20,530		女 22,067

魚の住む川に



ことしも願いこめて

地区民、善導寺川へコイを放流

善導寺川を魚の住む川にしようと、9月14日大和町、日吉町3・5・6区、弥生町の区民が3万8,000円を出し合い、コイ2,000匹を購入して放流しました。

町内の子供がバケツや洗面器に20~30匹ずつ入れ「早く大きくなあれ」と願いをこめて川の流れに放すと、コイは威勢よく泳ぎ回り、美しい幾つかの群となって見物人を楽しませました。この川への

コイの放流は昨年に続いて2回目ですが、昨年は稚魚であったため、下流へ流されてしまいましたので、ことしは10%程の2年生の魚を放しました。これから毎日町内の子供が観察して育てていくことになっています。

善導寺川は市街地の中心にあり、多くの排水が流れ込むため、魚が住むには必ずしも適していませんが、大和町区長の

斎藤平栄さんは「5、6年は続けないと『コイの住む川』にはならないでしょう。

今は水質も良くないし、ゴミもかなり流れてきます。ですから放した魚は川の美しさのハロメーターとなって、人間にいろいろな問題を教えてくれます。私たちはその問題を取り除く努力を根気よく続けなければなりません。ことしは川ゴミ対策として特製のくわを25丁づくり、いつでもだれでも川掃除ができるよう備えてあります」と話しています。

市区長会がことしの4月「川をきれいにする運動」を各団体に呼びかけ、市民運動としてスタートしましたが、「善導寺川へコイ放流」はそのモデルケースとして各方面から注目されています。

あなたは「わたしの健康法」をお持ちですか。今月は「体力づくり運動強調月間」ですので、市内で実行しておられる多くの実例の中から幾つかを拾い上げて紹介しましょう。また各リーダーからは現在の問題点やますます盛んにするための方法、市に対する要望などをお聞きしましたので、これからの市の計画とも合せて「わたしの体力づくり」についてもう一度考えてみたいものです。

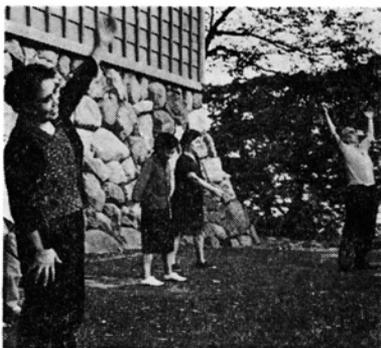
# 健康法をお持ちですか

## 亀山登り

### 早起きして自然を歩く

毎朝亀山公園を体力づくりに利用している人は、幼児からお年寄りまで約30人です。

5時半ころには「イチ、ニ、イチ、ニ」と掛け声勇ましく、ランニング姿の青年が頂上目指して走り、その後から2、3人の男女が朝もやの晴れゆく大野盆地をながめながら登ってきます。山頂では三三五五集まった人々が、朝のあいさつを交わしながら思い思いに体操をしたり、ベンチで歓談したりして、すがすがしい朝のひとときを過します。この人々の中に約10年間毎日トレーニングに励んでいる2人の婦人がおられたので、この方に感想を聞いてみました。



亀山山頂で体操する市民

井榎富子さん(57歳城町)は「毎日変化する亀山の自然をながめるのが楽しみです。特に、木々に積った雪のトンネルをくぐるとき、カラ松の若芽を見るときまたこれからのモミジを踏みしめるときなどは格別です。朝食はおいしいし、気分はいいし、こんなよい健康法はありません」と――また尾崎貞子さん(56歳、城町)は「健康の源は亀山散歩にあると



楽しく体力テストを受ける  
有終南小学校P・T・A会員

思います。毎朝続けているおかげで病気には縁がなく、これまでに3回国民健康保険優良家庭になりました。もっと多くの人々に実行をお勧めしたいものです」と話しています。

明日からあなたも参加してみませんか

## 剣道

### 愛好者を増やしたい

剣道は毎週土曜日午後7時から9時まで有終西小学校講堂で行われています。

現在の参加者は社会人が18人、児童生徒が約30人ですが、大会ともなれば各学校から豆剣士が約200人集まるほど層が厚いのです。

大野剣道会の岡本公生会長は「剣道は小学校4、5、6年生の間に基礎づくりをすることが大切なため、もっと愛好者を増やしたい。それには小・中学校単位に指導者がほしいことと、市から防具を貸与してほしい。また体育館を早く建ててもらいたい」と話しています。

## ナイター施設

### ソフトで運動不足解消

開成中学校グラウンドのナイター施設はサッカー、ソフトボール、野球などに4月から11月まで使用されています。

中でもソフトボールは職場、職域、商店街などでよく行われていますが、三番商店街厚生部長の富平和治さんは「日ごろバラバラにいる者が親睦を深めるとともに運動不足をなくするため、ソフトボールで体を鍛えています。9月には商店街で、大会を行い大好評でした。ナイター施設は勤労者には欠くことのできない

## スマイル

### 「コイ放流」

コイワズライさせ  
ないようにネ

――コイ

## コーナー

施設なので、もっと充実してほしい」と希望を語っています。



連日多くの人々に利用されているナイター施設

# 年 2 回 は 体 力 テ ス ト を

## サイクリング

### 親子の参加増える

毎週日曜日の朝6時に市役所前から「おはようサイクリング」の一行が元気よく出発します。参加者は平均大人15人、子供25人で、市内を1時間の行程で回ってきます。コースとしては市役所-麻生島-土布子-新在家-市役所、市役所-五条方-友兼-菖蒲池-市役所などいろいろあり、どのコースにするかは当日の朝みんなで決めていきます。

幼稚園児や75歳のお年寄りも参加して、自動車が少ない早朝の道を快適に走って市役所前に戻りますと、どの人も額に汗してさわやかな気分になります。

この協議会長の宇野浩治さんは「体力

づくりと交通マナーを身につけるのが目的ですが、近ごろは親子の参加が増えて

きました。親子のきずなを密にする上からも、もっと多くの人々が参加してほしいです」と語っています。



朝風を切って国道158号線を走る「おはようサイクリング」参加者

## バレーボール

### 体育館がほしい

バレーボール人口は職場、職域それに愛好者グループで年々増えています。

市バレーボール協会理事長の泉都敏さんは「バレーボールは青年の愛好者が多く、体力づくりや生活上の話し合いなどの機会としてチームやグループづくりを奨励しています。しかし会場が学校以外にはないので、使用時間や備品借用の面で不都合な点が出ています。一日も早く体育館がほしいです。また愛好者の底辺を広げる意味からも、春と秋2回は市民大会をやりたいものです」と抱負や要望を述べています。

## 弓 道

### 婦人の美容と健康に

市役所西側にある弓道場では、毎日朝6時から7時まで、午後は4時ごろから9時まで弓道の練習が行われています。

現在の会員数は社会人が42人、高校生が25人です。社会人の中には70歳近い人もありまた女性も2人加入しています。

大野弓道協会会長宇野正治さんは「弓道は年齢や性別に関係なくだれにでもできる良さがあります。その上、心と技の集中が要求されますので、体力づくりはもちろん人間形成にもよい道です。もっと多くの人に入ってほしいし、特に婦人には美容と健康のため入会をお勧めしたい

そのため、今後は弓道教室を開く計画をしています」と話しています。

健康増進は体力づくりが基調でなければなりません。このため、市は社会人の体力増進の場として、昭和44年に開成中学校グラウンドにナイター施設を設置しました。また学校施設の解放、リーダーの養成、スポーツ団体・グループの育成、体力テストの実施などにも努めてきました。一方、自主的な体育活動は職場で、職域で、また各団体グループで年々盛んになり、現在施設不足が大きな問題になってきています。

市ではこれからの公共施設建設計画として、昭和50年度に福祉会館を建設し、次に体育館の建設を計画していますが、昭和50年度に開成中学校の屋内運

動場を完成したうえ、現在の屋内運動場をとりあえず体育館として活用する計画です。

また近年中に真名川富田大橋付近の河川敷地に、野球やソフトボールのグラウンドを2、3面造ることになっています。

社会体育活動を推進する団体の育成面では、さらに力を入れていくと同時に、市民ひとりひとりが自分の体力を認識していただく年2回の体力テストの普及に努めます。15人以上の集まりには市から係員が出向いて楽しいスポーツを通して正しい体力のデータを提供します。市役所体育課（電話6-1111内線406）へ気楽にご相談下さい。

## 市のプラン

### 体育施設の充実へ

お年寄り訪問

「長寿の秘けつは  
クヨクヨしない」



最高齢者は加藤くらさん98歳

9月11・12日敬老の日を前に、市長が95歳以上の特別高齢者と米寿者の宅を訪問して、金杯などの記念品を贈り長寿をお祝いしました。

ことしの特別高齢者は昨年より1人少ない8人、米寿者は7人少ない26人でした。

市内の最高齢者は木ノ本領家の加藤くらさん(98歳)で、訪問日には血色のよい顔をほころばせながら出迎え、至って元気でした。

くらはさんは明治9年1月6日生まれで最近では耳が遠くなったものの病気はほとんどせず、毎朝6時に起きて夜は8時に寝る規則正しい生活をしています。

昨年までは田にも出ましたが、今年は庭の草取りや留守番が日課になり、相撲のテレビ放映を見るのがなによりの楽しみと言っています。三度のごはんはきちんと食べ、好ききらいはありません。ごはんの上に白砂糖をかけて食べることが大好きで、三日に500gが必要という変わった大の甘党です。

長寿の秘けつを尋ねると「クヨクヨせずに好きな物を食べ、神や仏を信じること」と大きな声で話していました。

加藤さんの外市内の特別高齢者は次の方々です。(敬称略)

- 五十嵐 サト(97歳) 五条方
- 杉本 治(97歳) 千歳

- 川井 幸辰(96歳) 上篠座
- 田中 ゆき(96歳) "
- 石本 えま(95歳) 小矢戸
- 沢井 この(95歳) 上篠座
- 村中 とき(95歳) 友兼

「有機質肥料を使ってよい土壌づくりをしよう」と、大野市家畜ふん尿農地還元推進協議会が近く発足します。

構成メンバーは一般農家、畜産農家、それに農業関係機関団体の各代表からなり、家畜のふん尿を耕地にかえし地力を増進させようというものです

農地の土壌は昭和30年ごろから多量に使われ始めた化学肥料と農薬で質が極めて悪くなり、生産力の低下や作物の質が年々悪くなる傾向が現れています。また全国的にも食品の農薬残留や農作物の変質などが問題になっています。このような状態から農地はどうしても有機質を中心とした「土づくり」をしなければならぬ段階にきています。

一方、市内の畜産農家では、年々飼育頭羽数が増え、そのふん尿の処理が大きな課題になってきました。

し尿処理場

抜本的な調査改善を

市の衛生処理場から排出された放流水が、7月に県が行った水質検査でBOD(生物化学的酸素要求量)が高く、好ましくない結果が出て市民に大へんご迷惑をかけています。

市ではさっそく施設の面と維持管理の面を嚴重にチェックして、現在基準値確保に努めています。また10月1日からは約2週間専門家を招いて抜本的な調査を行い、改善をすることになっています。

しかし、この施設の日常管理には市民の協力を得なければ完全な維持ができませんので、特に次の点にご協力願います

1、便そうに多量の消毒液やビニール袋類を混入させないこと。処理能力を落す原因になっています。

2、施設へのし尿の投入は量を平均することが必要なため、くみ取り量も制限しなければならぬときがあります。特に11・12月にはくみ取りが集中しますので、早めに発注して下さい。



農業は「土づくり」から

推進協議会が発足

推進協議会では、有機質肥料として欠くことのできない家畜のふん尿を農地に還元して立派な土壌づくりを進め、健全な農業の発展を目指すため、家畜ふん尿の処理方法、たい肥づくり及びその利用方法など、すでに実施されている全国の先進地の有機農法の調査研究を進めています。

(写真は長野県筑摩郡四賀村の共同利用たい肥舎)

9 月 定 例 市 議 会

道路、除雪費重点に補正

第 148 回 定 例 市 議 会 は 9 月 14 日 から 21 日 ま で 開 か れ 「 一 般 会 計 補 正 予 算 案 」 「 災 害 弔 慰 金 の 支 給 及 び 災 害 援 護 資 金 の 貸 付 け に 関 す る 条 例 案 」 な ど 11 議 案 を 審 議 し、い ず れ も 原 案 ど お り 可 決 し ま し た。

一 般 会 計 補 正 予 算

2 億 2,895 万 円 追 加

歳入歳出にそれぞれ 2 億 2,895 万 2,000 円 を 追 加 し、昭 和 49 年 度 予 算 の 総 額 は 30 億 5,947 万 7,000 円 に な り ま し た。補 正 予 算 の 中 心 は 道 路 の 整 備、除 雪 費、国 庫 補 助 事 業 の 内 定 分 な ど で 主 な も の は 次 の と お り で す。

— 福 祉 ▷ 大 野 保 育 園 跡 地 に 遊 園 地 を 造 る た め の 整 備、遊 具 費 に 145 万 円。

— 農 林 業 ▷ 県 営 広 域 農 道 負 担 金 2,094 万 円。▷ 上 庄 機 械 利 用 組 合 補 助 825 万 円。▷ た ば こ 乾 燥 施 設 補 助 1,497 万 円。▷ 上 庄 農 協 が 稲 郷 に 建 設 す る 農 業 団 地 セ ン タ ー 補 助 に 4,872 万 円。▷ 新 興 酪 農 生 産 団 地 補 助 669 万 円。

— 観 光 ▷ 円 山 公 園 駐 車 場 整 備 負 担 金 200 万 円。▷ 笹 又 地 係 温 泉 調 査 工 事 費 に 125 万 円。

— 土 木 ▷ 市 道 維 持 費 に 1,119 万 円 追 加 し て 総 額 3,201 万 円。▷ 市 道 改 良 費 に 2,612 万 円 を 追 加 し て 総 額 2 億 2,049 万 円。▷ 除 雪 費 に 1,327 万 円 を 計 上。

— 都 市 計 画 ▷ 都 市 計 画 街 路 新 庄 東 中 線 の 県 道 大 野 墨 俣 線 から 市 道 向 島 線 ま で の 舗 装 に 300 万 円 追 加 し 総 額 1,500 万 円 で 実 施。▷ 駅 東 公 園 整 備 に 100 万 円 を 追 加 し 総 額 900 万 円。

— 教 育 ▷ 有 終 西 小 学 校 放 送 施 設 改 造 に 110 万 円 を 追 加 し て 390 万 円。▷ 開 成 中 学 校 盛 土 造 成 工 事 費 に 684 万 円。

災 害 援 護 の 条 例 で き る

「 災 害 弔 慰 金 の 支 給 及 び 災 害 援 護 資 金 の 貸 付 け に 関 す る 条 例 」 が 新 し く 定 め ら れ、10 月 1 日 から 施 行 に な り ま し た。

こ の 条 例 は 暴 風、豪 雨、豪 雪、地 震 な ど の 災 害 に よ る 被 害 者 を 援 護 す る た め に 設 け ら れ た も の で す。

内 容 と し て は 災 害 弔 慰 金 の 支 給 と 援 護 資 金 の 貸 し 付 け か ら な り、弔 慰 金 は 遺 族

に 対 し て 死 亡 者 1 人 当 た り 50 万 円 が 支 給 さ れ ま す。ま た 災 害 援 護 資 金 の 貸 し 付 け は 住 居 が 全 壊 の と き 50 万 円、半 壊 の と き 30 万 円、世 帯 主 が 1 か 月 以 上 の 療 養 を 要

す る 負 傷 の と き は 30 万 円 な ど、貸 し 付 け 内 容 と 限 度 が 定 め ら れ て お り、償 還 期 間 は 3 年 す え 置 き の 10 年、利 率 は す え 置 き 期 間 中 は 無 利 子 で 年 3 厘 と な っ て い ま す。



都 市 計 画 街 路 三 番 線

こ と し 中 に 完 成

都 市 計 画 街 路 三 番 線 の 改 良 工 事 は 毎 年 継 続 し て 行 っ て き ま し た が、こ と し は 最

終 年 度 を 迎 え、新 庄 区 から 西 部 バ イ パ ス ま で の 462 延 米 を 工 費 1,104 万 円 で、12 月 20 日 の 完 成 を 目 指 し て 進 め て い ま す。

こ の 工 事 は 昭 和 46 年 度 から 着 手、開 成 中 学 校 南 側 より 新 庄 を 経 て 西 部 バ イ パ ス に 通 ず る 延 長 1,414 延 米、幅 員 12 延 米 の 道 路 建 設 で 工 費 は 総 額 8,004 万 円 に な り ま す。

こ れ が 完 成 し ま す と、市 街 地 を 南 北 に 走 る 唯 一 の 道 路 と な り、北 は 中 津 川 地 係 で 国 道 157 号 線 に、南 は 篠 座 地 係 で 国 道 158 号 線 西 部 バ イ パ ス に 通 じ て、市 街 地 と 主 要 道 路 を 結 ぶ 重 要 な 街 路 に な り ま す 特 に 西 部 バ イ パ ス へ の 開 通 は、小 山・上 庄 方 面 へ 短 距 離 で し か も 容 易 に 通 じ る こ と か ら、こ れ か ら 大 き な 役 割 を 果 た す こ と に な り ま す。(写 真 は 新 庄 地 係 で 工 事 が 進 む 都 市 計 画 街 路 三 番 線)



17

武 田 耕 雲 齋 の

日 本 地 図

木ノ本の杉本憲治氏所蔵の日本地図

は 水 戸 浪 士 武 田 耕 雲 齋 が、元 治 元 年 12 月 6 日 に 同 家 に 一 泊 し た 時、そ の 厚 遇 を 謝 し て 贈 っ た も の と い わ れ、市 の 文 化 財 に 指 定 さ れ て い ま す

地 図 は 東 日 本 と 西 日 本 の 2 図 で、と も に 8 畳 敷 き ぐ ら い の 大 き さ で す。西 谷 や 大 野 方 面 の 道 路 な ど に は 誤 り が 多



く、荷 厄 介 に な る の で 残 し た と も 考 え ら れ ま す が、100 年 余 り 前 の 地 図 と し て は よ く 調 査 さ れ て い て、彼 ら の 準 備 の 周 到 さ に は 敬 服 さ せ ら れ ま す。

尊 王 攘 夷 の 志 を 朝 廷 に 訴 え る た め、な かせん 中 山 道 を 西 進 し た 耕 雲 齋 ら の 一 行 八 百

余 名 は、12 月 4 日 越 美 国 境 罇 帽 子 峠 を 越 え て 大 野 藩 領 西 の 谷 に 入 り ま し た。

大 野 藩 は こ れ を 迎 え 討 つ た め に、西 谷 の 民 家

を 焼 き ま し た。雪 の 中 に 夜 宿 し た 一 行 は、6 日 に 笹 又 峠 を 越 え て 木 ノ 本 に 入 っ た の で す。

(次 号 に 続 く)



◆……市政広聴会へどうぞ

市民と市の関係者で市政を語り、考え合う「市政広聴会」を次の日程で行います。近所、お友達お誘い合せの上近くの会場へおいで下さい。

- 10月4日(金)午後6時30分 市民会館
5日(土) 春日児童館
11日(金)午後7時 日吉児童館
15日(火) 大野公民館
16日(水)午後1時30分五箇
17日(木) 下庄
23日(水) 富田
24日(木) 阪谷
28日(月) 上庄
11月5日(火) 乾側
11日(月) 小山

◆……消費生活展が福井放送会館で

「みんなの消費生活展」が10月25日(金)から30日(水)まで福井市大手3丁目の福井放送会館で開かれます。

ことしは「くらしを見直そう」というテーマのもとに「資源は有限」のコーナー「物価」のコーナーなど、消費者自身が考えなければならぬ問題がわかりやすく展示されます。開催時間は午前10時から午後5時まで。

◆……文化祭の出品は30日に

第8回大野市総合文化祭展示作品を次のとおり募集しています。奮ってご応募下さい。

<種 目>絵画、造形(2x2 枠以内)

工芸、書道、デザイン(B全版以内パネル張り)、写真、その他

<出品点数>1人2点まで

<作品搬入>10月30日午前9時から午後5時まで市民会館第1、2会議室へ

◆……おのおどり指導員募集

城まつりに大へん活躍した越前おのおどり保存会では、指導員を募集しています。この会は、心のふるさとである郷土の民謡を理解し、広く普及しようというもので、月に1回例会を開いて研究や練習に専念しています。希望者は大野商工会議所へ申し込んで下さい。

◆……植樹祭は10月28日

市制20周年記念植樹祭を10月28日(月)午前10時から蕨生大原山(荒島スキー場)で行います。

この植樹祭は、市制施行以来植林面積が900 畝に達したのを記念して、多数の市民の参加を得て行う計画です。

参加希望の方は10月5日(土)までに各区長さんへ申し込んで下さい。

なお、当日は午前9時30分に各公民館からバスを出しますので、参加者は唐鞆を持って午前9時20分までにお集まり下さい。

◆……大腿四頭筋短縮症検診へ

児童の大腿四頭筋短縮症が県下で問題になっていますが、県では次により検診を行いますので、疑いがあると思われる方は10月8日までに大野保健所へ申し込み、受診して下さい。

検診日 10月13日(日)午後1時~3時
場所 大野保健所

みんなで防ごう交通事故

<重点目標>

歩行者を交通事故から守ろう。横断歩道を横断中または横断しようとする歩行者がいる場合は、車は必ず一時停止を。

交通事故状況(大野署管内)

Table with columns: 区分, 総件数, 人身事故, 死者, 傷者. Rows for 49年 and 48年.

(各年9月20日現在、大野署調べ)

◆……青年祭に参加を

青年のみなさん、奮ってご参加下さい
<日 時>10月20日(日)午後1時から9時まで

<場 所>有終南小学校・開成中学校グラウンド

<テーマ>連帯と創造の広場

<内 容>体育、のど自慢、コント、歌と踊り、19日は午後6時から有終南小学校で前夜祭

◆……中小企業退職金制度の利用を

中小企業の人材確保のために、中小企業退職金制度があります。

月つきわずかな掛金で、退職時に退職金が支給されます。掛金の一部には市及び県から補助金が交付されることになっています。希望される事業主は市商工観光課へご相談下さい。

◆……共同募金に協力下さい

10月1日から31日まで共同募金運動月間です。町内会、街頭などで募金運動が行われますので、ご協力下さい。



秋の収穫を終えた大野盆地は、いま静かに錦秋の装いに入ろうとしている。スポーツの秋、読書の秋ともいわれるこの月は、静動あ

わせその表情は明る。▼とりわけ出版界の活気は近年とみに加わり、毎週の出版ベストテンをながめると、今日の人心と世情がうかがわれて楽しいものである。それらの本をいちいち購入するのは手元不如意というべきだが、これだけは読んでみたい、あるいは読書の友達を持ちたいという人たちの動きも生まれている。大野公民館を中心とする読書サークル、下庄・上庄両公民館にもそれぞれ読書サークルがある。主として婦人層で、中年以上の方が多い。大野公民館図書室の話では、利用者の約七〇割は児童・生徒たちで、大人は三〇割だそう。図書の数は一万余冊くらいだが、注文でもあれば大体読めることは確かである(県立図書館からの巡回文庫もある)。現在大野市立図書館はないが、今後の課題としての比重は極めて大きい。▼テレビの普及で視聴覚から入る知識は一応受け止めることができたとしても、読書からの活字文化は頭の中を整頓したり、編成したりすることに最も大きく作用するといわれている。人間の思考思索は一応活字から受け止めて自分のものとするのは極めて大切である。小さいころの読書習慣は親たちが子供に身につけなければならぬし、親たち自身が活字に親しめなければいけない。それぞれの趣味を、読書の媒体として伸ばすことができる日常生活を持ちたいものだ。 M生